

Ⅱ. 2. 学術交流・国際研究活動等

○学術交流協定（令和3年3月31日現在）

<言語文化専攻>

大学名	国名	協定締結年月日	期日	授業料相互不徴収規定
ベルリン人文科学センター ライプニッツ言語学研究センター	ドイツ連邦共和国	2021/2/24	2026/2/23	—
トゥルク大学	フィンランド共和国	1998/11/17	—	—
ヴィータウタス・マグナス 大学人文学部	リトアニア共和国	2012/10/25	2022/10/24	—
ロシア極東連邦総合大学	ロシア連邦	2017/4/18	2022/4/17	○
ウラジオストク国立経済 サービス大学	ロシア連邦	2015/12/18	2020/12/27	—

<言語社会専攻／日本語・日本文化専攻>

大学名	国名	協定締結年月日	期日	授業料相互不徴収規定
ペルージャ外国人大学 国際部	イタリア	2019/7/9	2024/7/8	—
ミラノ大学 言語・文化交流学部（学部・大学院）	イタリア	2020/12/21	2025/12/20	○
テヘラン大学	イラン・イスラム共和国	2017/5/2	2022/5/1	—
シーラーズ大学	イラン・イスラム共和国	2018/1/10	2023/1/9	—
イスラーム大百科事典編纂所	イラン・イスラム共和国	2018/1/21	2023/1/20	—
デリー大学 人文学研究科ヒンディー語専攻、社会科学研究科東アジア学専攻	インド	2015/10/27	2020/10/26	○
ジャワーハルラル・ネルー大学 言語文学文化研究科	インド	2014/7/3	2024/7/2	○
ティラク・マハーラーシュトラ大学	インド	2014/7/22	2024/7/21	○
アル・ラニーリ・国立イスラーム大学 法学部	インドネシア共和国	2018/9/12	2023/9/11	○
スナン・カリジャガ国立イスラーム大学ジョグジャカルタ校 大学院、法学部	インドネシア共和国	2015/9/15	2020/9/14	—

アンダラス大学 人文学部	インドネシア共和国	2016/8/1	2021/7/31	○
タラス・シェフチェンコ記念 キエフ国立大学言語学院	ウクライナ	2018/11/30	2023/11/29	○
サマルカンド国立大学	ウズベキスタン	2017/10/4	2022/10/3	○
アスワン大学 言語学部	エジプト・アラブ共和 国	2016/7/11	2021/7/10	○
カイロ大学 文学部	エジプト・アラブ共和 国	2016/9/18	2021/9/17	○
ストックホルム大学 アジ ア・中東・トルコ学部	スウェーデン王国	2017/4/3	2022/4/2	○
コーンケン大学 人文社会 学部	タイ王国	2017/3/23	2022/3/22	○
シラパコーン大学 文学部	タイ王国	2017/3/15	2022/3/14	○
チュラロンコーン大学 ア ジア研究所	タイ王国	2018/4/3	2023/4/2	○
ランシット大学	タイ王国	2013/9/12	2023/9/11	○
マヒドン大学 教養学部	タイ王国	2019/5/24	2024/5/23	○
カセサート大学 人文学部	タイ王国	2019/6/28	2024/6/27	○
国立高雄科技大学 外語学院	台湾	2021/2/20	2022/2/19	○
国立台湾師範大学 文学部	台湾	2019/3/29	2024/3/28	○
国立成功大学 ベトナム研究センター	台湾	2019/11/21	2024/11/20	—
華中師範大学 国際文化交流学院、外国語学 院、言語と言語教育研究セン ター	中華人民共和国	2010/3/4	2020/3/3	○
上海外国語大学 日本文化経 済学院、国際文化交流学院	中華人民共和国	2013/7/25	2023/7/24	○
大連理工大学 外国語学院・ 国際教育学院	中華人民共和国	2017/7/5	2022/7/4	○
西北大学 文学院	中華人民共和国	2019/11/4	2024/11/3	○
北京語言大学 中国語国際教 育学部、外国語学部、研究生 院	中華人民共和国	2021/1/13	2026/1/12	○
ハイデルベルグ大学 日本学 研究所	ドイツ連邦共和国	大学間交流協定に基づく部局間 学生交流覚書締結		○
フランクフルト応用科学大学	ドイツ連邦共和国	2016/11/1	2021/10/31	○
ウェリントン・ヴィクトリア 大学	ニュージーランド	2017/10/20	2022/10/19	○
ベルゲン大学 文学部	ノルウェー王国	2016/2/24	2021/2/23	○
ガヴァメント・カレッジ大学	パキスタン・イスラム 共和国	2013/1/29	2023/5/5	—
パンジャーブ大学 オリエンタルカレッジ	パキスタン・イスラム 共和国	2014/5/30	2019/5/29	—

ラーホール女子大学 イスラーム・東洋学研究科	パキスタン・イスラム 共和国	2020/1/1	2024/12/31	—
カーロリ・ガーシュパール カルビン派大学 文学部	ハンガリー共和国	2017/10/5	2022/10/4	○
セゲド大学 人文社会学部	ハンガリー共和国	2020/2/19	2025/2/18	○
フルミネンセ連邦大学	ブラジル	2017/1/26	2022/1/25	○
ソフィア大学	ブルガリア共和国	2007/10/1	2021/7/27	—
ハノイ大学	ベトナム社会主義共 和国	2015/4/27	2025/4/26	○
ハノイ師範大学	ベトナム社会主義共 和国	2015/5/5	2025/5/4	○
ハロン大学	ベトナム社会主義共 和国	2018/4/19	2023/4/18	○
ホーチミン市師範大学	ベトナム社会主義共 和国	2019/1/18	2024/1/17	○
ホーンバーン国際大学	ベトナム社会主義共 和国	2018/3/6	2023/3/5	○
ベトナム社会科学アカデミー 言語学院	ベトナム社会主義共 和国	2014/9/22	2024/9/21	—
ベトナム辞書学センター	ベトナム社会主義共 和国	2014/9/23	2024/9/22	—
ホアセン大学 社会科学部	ベトナム社会主義共 和国	2019/12/20	2024/12/19	○
ヤギェロン大学 文献学部	ポーランド共和国	2007/10/1	2021/10/2	—
マンダレー大学	ミャンマー	2019/5/23	2024/5/22	○
ウラル連邦大学	ロシア連邦	2016/9/28	2021/9/27	○
ハカス言語・文学・歴史研究 所	ロシア連邦	2013/3/18	2023/3/17	—
モスクワ言語大学	ロシア連邦	2009/8/14	2024/8/13	○

○連携協定

<言語社会専攻／日本語・日本文化専攻>

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

(締結日：平成 21 年 11 月 16 日、有効期間：令和 4 年 3 月 31 日)

○外国人研究者等受入れ状況

<言語文化専攻> 令和2（2020）年4月1日以降受入れ

国・地域	所属	職名	内容	渡航費	受入 教員	受入期間 (開始)	受入期間 (終了)
ドイツ	ライプニッツ理論言語学研究所	副研究所長、プロジェクトグループリーダー	言語と論理的思考の発達に関する研究	大阪大学	宮本陽一	2020. 4. 1	2021. 3. 31

<言語社会専攻/日本語・日本文化専攻> 令和2（2020）年4月1日以降受入れ

国・地域	所属	職名	内容	渡航費	受入 教員	来訪期間 (開始)	来訪期間 (終了)
モンゴル	モンゴル科学技術大学	上級講師	ユーラシアの家畜文化が日本の固有文化にどう接合したかについて研究し、その成果を講義やゼミを通じて学生や院生と共有する	私費	今岡 良子	2020/4/1	2021/3/15

○国際研究活動

<言語文化専攻>

内容言語統合型学習（CLIL）に関する国際雑誌の Special Issue 刊行と書籍刊行	
研究科教員名	西田理恵子
開催日	令和2年9月20日、令和3年2月28日
開催場所	
概要	Kyle Talbot 先生 (米国)と Marie Gruber 先生(オーストリア)との共同で、国際雑誌の Special Issue 「Talbot, K., Gruber, M., & Nishida, R. (2020). Special Issue: The Psychology of Teaching and Learning Content & Language. <i>Journal of the Psychology of Language Learning</i> . pp.1-123.」を刊行した。また同メンバーと英国 Multilingual Matters から「Talbot, K., Gruber, M., & Nishida, R. (2021). The Psychological Experience of Integrating Language and Content. <i>Multilingual Matters</i> . pp.1-301.」と題して、書籍刊行を行った。

国際学術誌、Revue des Amis de Ronsard, XXXIII の刊行	
研究科教員名	林 千宏
開催日	令和2年10月1日
開催場所	
概要	カナダ、スイス、日本、フランスの研究者と協力し、国際学術誌、Revue des Amis de Ronsard, XXXIII を刊行した。

大阪大学国際共同研究促進プログラム (タイプ A) : 言語と論理的思考の発達に関する研究 (04/2018-03/2021)	
研究科教員名	宮本 陽一
開催日	令和2年10月23日, 令和3年3月12日
開催場所	オンライン
概要	実験語用論の側面に焦点を当てた「量化」に関する国際共同研究である。コロナ禍、実験語用論に関するワークショップをオンラインで2回実施した。また、オンラインツールを用いて、これまでの共同研究の成果をまとめ、Boston University Conference on Language Development 45 (オンライン), Experiments in Linguistic Meaning (オンライン) 等で公表した。

科学研究費助成金基盤研究 B 特別講演会企画 (オンライン特別講演)	
研究科教員名	西田理恵子
開催日	令和2年11月22日
開催場所	大阪大学言語文化研究科・オンライン特別講演 (ZOOM)
概要	West Virginia University の Amy Thompson 先生をお招きして、「The role of context in language learning, teaching and self-development in a multilingual word」と題して、大阪大学言語文化研究科にて、科学研究費助成金基盤研究 B 特別講演会企画 (オンライン特別講演) を実施した。学内外から多くの参加者があり、活発な意見交換が行われ、有意義な研究活動の場となった。

<言語社会専攻／日本語・日本文化専攻>

The 8th Workshop on the Water Rescue and Survival Research (Uitemate 2020)	
研究科教員名	永原 順子
開催日	令和2年12月12日
開催場所	オンライン
概要	水難学会では、「水難事故に遭遇した際、背浮きの状態で救助を待つ」という自己救助法“ういてまで”を、日本国内外へ普及することに尽力している。今回の会議では、フィリピン、インドネシア、台湾、日本、タイ、マレーシア、の専門家および研究者が、各国の COVID-19 感染拡大の状況下における Uitemate 講習の様式、水難防止教育の現状を報告し、今後の課題について議論した。